

お詫びと訂正

弊社刊行の『2014 社会福祉士国家試験過去問解説集 第 23 回—第 25 回全問完全解説』の本文中、以下の箇所にご迷惑がございました。お詫びして、訂正させていただきます。（2013 年 11 月 11 日更新）

該当頁	該当箇所	誤	正	備考
5 頁	選択肢 2 の解説文 4 行目	<u>除々</u> に	<u>徐々</u> に	2013/09/06 更新
61 頁	選択肢 4 の解説文 1 行目	次世代育成支援対策法	次世代育成支援対策 <u>推進</u> 法	
69 頁	選択肢 1 の解説文 3 行目	待 <u>機</u> 期間	待 <u>期</u> 期間	
120 頁	選択肢 1 の解説文 1 行目	全 <u>国</u> 慈善矯正会議	全 <u>米</u> 慈善矯正会議	
126 頁	上から 8 行目	<u>9</u> 問	<u>10</u> 問	
133 頁	選択肢 1 の 1 行目	心理社会的ア <u>プ</u> ローチ	心理社会的ア <u>プ</u> ローチ	
141 頁	選択肢 1 の 1 行目	<u>聞</u> かれた質問	<u>開</u> かれた質問	
230 頁	選択肢 3 の解説文 1 行目	「平成 20 年度住民参加型在宅福祉サービス活動実態調査」	「平成 20 年度住民参加型在宅福祉サービス <u>団体</u> 活動実態調査」	
	選択肢 5 の解説文 4 行目	「閲覧の請求があったときは、（中略）これを閲覧させ、又は謄写させなければならない」	「 <u>所轄庁は、（中略）閲覧又は謄写</u> の請求があったときは、（中略）これを閲覧させ、又は謄写させなければならない」	
252 頁	選択肢 2 の解説文 1～2 行目	<u>「国民生活基礎調査」(平成 22 年)によれば、「子どもがいる現役世帯」(世帯主が 18 歳以上 65 歳未満の世帯)の貧困率において、「大人が一人」の世帯(父子世帯・母子世帯)で 50.8%となっている。</u>	<u>OECD の「SOCIETY AT A GLANCE 2009」によれば、わが国の一人親世帯の相対的貧困率は無業の親で 60%、有業の親で 58%である。</u>	

273 頁	選択肢 4 の解説文 3 行目	<u>トレンド調査やコーホート調査などの縦断調査の手法</u>	<u>パネル調査</u> の手法	2013/09/06 更新
307 頁	選択肢 3 の解説文 2 行目	法第 17 条第 1 項	法第 17 条	
441 頁	選択肢 3 の解説文	<u>選択肢 3 はエンパワメントアプローチに関する記述である。ソロモン (Solomon, B.) によってソーシャルワークの領域に紹介された。ポストモダニズム期における主要なアプローチの一つである。</u>	<u>選択肢 3 は、実存主義アプローチに関する記述である。キルケゴール (Kierkegaard, S.A.) やパスカル (Pascal, B.) をその祖とする実存主義は、合理主義や実証主義による客観的な人間理解を否定し、主体的な存在としての人間を強調し、さらに苦悩を必須のものと考えた。1960 年代にクリル (Krill, D.) によってソーシャルワーク実践への適応がなされた実存主義アプローチの成立背景には、アメリカにおける人種差別、貧富格差等といった問題の噴出があった。</u>	2013/11/11 更新